

## 警 察 署 協 議 会 会 議 録

小倉北警察署協議会

開催年月日時	平成 30年 7月 4日 午後 4時30分 から 平成 30年 7月 4日 午後 5時40分 まで	
開催場所	小倉北警察署8階大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下14名
	警察署	署長、副署長、会計管理官、生活安全管理官、地域管理官、刑事管理官、組織犯罪対策管理官、交通管理官、警備管理官、総務第一課長、生活安全課長、地域第二課長、刑事第一課長、組織犯罪対策第一課長、交通第一課長、警備第二課長、事務局
<b>議 事 概 要</b>		
<p><b>【会長挨拶】</b>                  昨日の台風は、北九州市内では人的被害がなくて良かったと思う。台風が発生すると、警察の皆さんも日頃の業務に加え、色々な対策をされると思うが、今後も市民なり、県民なりの安全を守るためにお力添えをよろしく願います。</p> <p><b>【署長挨拶】</b>                  平素より皆様におかれましては、警察活動全般に亘り、御理解と御支援、御協力を賜り、この場を借りて厚くお礼申し上げます。                  本日、片野付近の信号交差点において、青信号で横断歩道を渡っていた60歳の女性が車にはねられる交通事故が発生したが、最初に現場で被害者の救護と119番通報をしてくれたのが協議会委員の部下であった。さらに、女性の運ばれたのが協議会委員の勤務する病院で、命を守る情熱と高い医療技術のおかげで、女性は何とか一命を取りとめた。このように、小倉北警察署は本当に素晴らしい協議会委員の方々に恵まれている。                  本日は、上半期重点目標の取組状況について担当管理官から報告するので、忌憚のない御意見、御質問をお願いします。</p> <p><b>【報告事項】</b>                  平成30年上半期重点目標の取組状況について</p> <p>1 三大重点目標</p> <p>(1) 工藤會の壊滅（組織犯罪対策管理官）                  (2) 飲酒運転の撲滅（交通管理官）                  (3) 性犯罪の抑止（生活安全管理官、刑事管理官）</p> <p>2 重点目標</p> <p>(1) ニセ電話詐欺等身近な犯罪の抑止（生活安全管理官）                  (2) 重要凶悪事件の徹底検挙（刑事管理官、地域管理官）                  (3) 少年非行の抑止と立ち直りの支援（生活安全管理官）                  (4) 交通事故の抑止（交通管理官）                  (5) テロの未然防止と災害対策の強化（警備管理官）</p>		

## 議 事 概 要

### (6) 厳正な規律の保持と現場執行力の強化（副署長）

#### 【意見・要望】

- 委員から「教育現場では、県の暴排条例に基づいて暴排教育をしているが、暴力団の新規加入人数が分かれば教えていただきたい。」旨の質疑があり、組織犯罪対策第一課長から「新規加入人数までは把握できていないが、新たに組に加入する者は着実に減っている。」旨の回答があり、署長から「暴力団組員として新しく認定されている者は、小倉北警察署管内では極めて少ない。学校の先生方も暴排教育を行い非常に努力されるなど、入り口対策は確実に功を奏している。」旨の回答があった。
- 委員から「性犯罪の抑止の主な取組の「先制・予防的活動」とはどのようなものか。」旨の質疑があり、生活安全管理官から「声かけやつきまといを見つければ、まずは指導なり警告をする。また、夜間、一人歩きしている女性に対して、スマートフォンを見ながら歩くと、後ろから来る被疑者に気付かないので、被害者とならないように防犯指導をするといったことを「先制・予防的活動」と呼んでいる。」旨の回答があった。
- 委員から「最近では、居酒屋の客引きが結構あるが、それを取り締まる法律はあるのか。」旨の質疑があり、生活安全管理官から「居酒屋の客引きは、午前0時までは取締りの対象とはならないが、午前0時以降は風営法による取締りができる。また、客の前に立ちふさがったり、つきまとったりすれば、迷惑防止条例違反になる。いわゆるスナックは、風営法を根拠として、時間にかかわらず客引き行為を取り締まることが出来る。」旨の回答があった。
- 委員から「病院に運ばれてくる子どもの怪我が虐待によるものかどうか、非常に区別が付きにくい。児童虐待にどこまで介入するのか判断が難しい。」旨の意見があり、署長から「私たちとしては全て通報していただきたいし、情報もいただきたいので、色々な機関に働きかけをしている。「これは単なる怪我じゃない。」といった最初に診察する病院の先生の見立ては非常に大事な情報であるので、是非、そういう通報はいただきたい。学校の先生方、教育委員会、児童相談所ともしっかりと連携をとっていかなくてはならないと思っている。日本の宝である子どもたちを守るために、私たち警察は持てる権限をフルに活用して対処していく。」旨の回答があった。
- 委員から「全国的に留学生や技能実習生の失踪が増えているが、外国人が暴力団に引き込まれる事も多いのか。」旨の質疑があり、組織犯罪対策第一課長から「工藤會に限って言えば、留学生等が組員として引き込まれるということは把握していない。」旨の回答があった。

#### 【公安委員講評】

警察の方からの報告で、小倉北警察署が積極果敢な取組を行っている警察署だということがよく分かった。特に、被疑者の迅速な検挙ができたという事例を話していただき感謝している。

また、県下警察署の中でも、小倉北警察署協議会委員が一番女性の比率が高いと感じる。今後、増えていく性犯罪を防止するためには、女性の意見が非常に重要ではないかと思う。被疑者の検挙は勿論、犯罪が起こる前の段階での未然防止をお願いする。

暴力団対策は福岡県警が全国の模範となるような形で進んでいる。ただ、関東や関西から来た人からは、「福岡県は暴力団は大丈夫ですか。」という話をまだ聞

## 議 事 概 要

く。一度、染み付いた意識はなかなか拭えないと思うが、小倉北警察署では検挙をしっかりとされており、発生事案も減っているので、その点を積極的にアピールしていただきたい。協議会委員の方々は、市民と警察のパイプ役という役目を担っているので、是非、市民の方の声を警察に伝えるとともに、警察がどのような事をしているのかを伝達し、警察が頑張っていることをアピールしてもらいたい。

【閉会】

